



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年11月13日

上場会社名 株式会社ヴィス 上場取引所 東
 コード番号 5071 URL https://www.vis-produce.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 勇人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 矢原 裕一郎 (TEL) 06-6457-6788
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績 (2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,422	—	94	—	94	—	69	—
2020年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	8.56	8.39
2020年3月期第2四半期	—	—

(注) 2020年3月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年3月期第2四半期の数値及び2021年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,535	3,385	3,385	3,385	74.6
2020年3月期	5,234	3,436	3,436	3,436	65.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 3,385百万円 2020年3月期 3,436百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,388	1.0	857	△8.9	831	△10.4	562	△8.0	68.96

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	8,153,050株	2020年3月期	8,152,300株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	一株	2020年3月期	一株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	8,152,427株	2020年3月期2Q	一株
------------	------------	------------	----

(注) 2020年3月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年3月期の期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料については、近日中に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(決算説明会について)

機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から開催を中止することといたしました。つきましては、決算説明の動画を当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発令を機に、休業要請、外出自粛が本格化したことにより、国内の経済活動に急激な縮小が見られ、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

国内におけるオフィスビル賃貸市場においては、東京ビジネス地区(千代田区、中央区、港区、新宿区、渋谷区)で新築ビルが一部で募集面積を残して竣工したほか、既存ビルでは館内縮小に伴う解約の影響等があり、2020年9月時点の平均空室率は3.43%(2020年3月時点1.50%)と増加いたしました(出所:三鬼商事株式会社「オフィスマーケットデータ」)。一方で、テレワークの増加に伴い働き方に対する関心の高まりやオフィスのあり方に対する意識の変化がみられ、サテライトオフィス(※1)やシェアオフィス(※2)の活用を検討するなど、働き方やオフィス環境を本格的に見直す企業の引き合いも増加しております。

このような経済環境のもと、当社におきましては、成長企業や働き方の見直しに積極的な企業を中心に営業活動を行うとともに、デザインやレイアウトによって業務効率や従業員満足度が高められるデザイナーズオフィスを提供することで、働き方への関心の高まりやオフィスのあり方の変化に対応したオフィスづくりに貢献してまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における経営成績は、売上高3,422百万円、営業利益94百万円、経常利益94百万円、四半期純利益69百万円となりました。

なお、各セグメントの経営成績の状況は、次のとおりであります。

イ デザイナーズオフィス事業

デザイナーズオフィス事業では、WEBマーケティングによる新規顧客の獲得及び既存顧客へのフォローを継続して成長企業を中心に受注獲得を行ってまいりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一部の案件で遅延や延期の動きが見られました。また、働き方やオフィスのあり方の変化に対応すべく、マーケティング・ICTの強化や先行人員増等、中長期的な事業成長に向けた先行投資により販管費が増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は3,422百万円、セグメント利益(営業利益)は100百万円となりました。

ロ VISビル事業

VISビル事業では、2019年12月に既存ビルの解体工事が完了し、2020年1月よりVISビル「The Place」の建設工事を開始しております。以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高はなく、セグメント損失(営業損失)は5百万円となりました。

[用語の注釈]

(※1) サテライトオフィス(Satellite Office)

企業の本社・本拠地から離れた場所に設置されたオフィススペースのこと。自宅で仕事をするための設備・環境が整っていない人が通勤の混雑を避けつつ働くことができる。

(※2) シェアオフィス(Shared Office)

同じスペースを複数の利用者がフリーアドレス形式で共有するオフィススペースのこと。什器・備品は備え付けで自前で設備を整える必要がなく、初期コストを低く抑えることができる。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して698百万円減少し、4,535百万円となりました。流動資産は891百万円減少し、2,765百万円となりました。これは主に仕掛品で32百万円増加した一方で、現金及び預金で342百万円、売掛金で580百万円減少したことによるものであります。

固定資産は192百万円増加し、1,769百万円となりました。これは主に建設仮勘定で197百万円増加した一方で、敷金及び保証金で5百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比較して647百万円減少し、1,150百万円となりました。流動負債は647百万円減少し、1,147百万円となりました。これは主に前受金で163百万円増加した一方で、買掛金で617百万円、未払法人税等で138百万円、未払消費税等で54百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前事業年度末と同額の2百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比較して50百万円減少し、3,385百万円となりました。これは主に四半期純利益69百万円を計上した一方で、配当金122百万円を支払ったことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、30百万円となりました。これは主に税引前四半期純利益94百万円、売上債権の減少580百万円、前受金の増加163百万円があった一方で、仕入債務の減少617百万円、未払消費税等の減少54百万円、法人税等の支払額150百万円により減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、182百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出182百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、130百万円となりました。これは主に配当金の支払額121百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年7月10日に公表いたしました内容から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,719,477	2,376,545
売掛金	885,948	305,526
仕掛品	4,022	36,198
貯蔵品	2,928	2,928
前払費用	42,294	42,938
未収入金	2,134	1,233
その他	548	614
流動資産合計	3,657,353	2,765,985
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	86,225	80,777
工具、器具及び備品(純額)	27,131	28,533
土地	1,077,085	1,077,085
建設仮勘定	162,221	359,246
有形固定資産合計	1,352,663	1,545,641
無形固定資産		
ソフトウェア	5,364	3,795
その他	76	736
無形固定資産合計	5,441	4,531
投資その他の資産		
敷金及び保証金	113,304	108,091
長期前払費用	34,119	34,119
繰延税金資産	71,740	77,550
投資その他の資産合計	219,164	219,761
固定資産合計	1,577,268	1,769,935
資産合計	5,234,622	4,535,920

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,111,437	493,618
未払金	32,361	24,427
未払費用	184,880	192,522
未払法人税等	180,564	41,922
未払消費税等	69,498	14,588
前受金	150,954	314,254
預り金	9,413	12,488
賞与引当金	56,533	53,917
流動負債合計	1,795,643	1,147,740
固定負債		
資産除去債務	2,896	2,896
固定負債合計	2,896	2,896
負債合計	1,798,540	1,150,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	515,360	515,500
新株式申込証拠金	—	1,458
資本剰余金	490,360	490,500
利益剰余金	2,430,361	2,377,823
株主資本合計	3,436,082	3,385,283
純資産合計	3,436,082	3,385,283
負債純資産合計	5,234,622	4,535,920

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	3,422,871
売上原価	2,517,871
売上総利益	905,000
販売費及び一般管理費	810,206
営業利益	94,793
営業外収益	
受取利息	49
その他	0
営業外収益合計	49
営業外費用	
売上割引	326
営業外費用合計	326
経常利益	94,517
税引前四半期純利益	94,517
法人税、住民税及び事業税	30,580
法人税等調整額	△5,810
法人税等合計	24,770
四半期純利益	69,746

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	94,517
減価償却費	11,108
差入保証金償却額	5,178
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,615
受取利息及び受取配当金	△49
売上債権の増減額 (△は増加)	580,421
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△32,175
未収入金の増減額 (△は増加)	900
前払費用の増減額 (△は増加)	△644
仕入債務の増減額 (△は減少)	△617,818
未払金の増減額 (△は減少)	△4,088
未払費用の増減額 (△は減少)	7,642
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△54,909
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△18,642
前受金の増減額 (△は減少)	163,299
その他	△11,598
小計	120,526
利息及び配当金の受取額	27
法人税等の支払額	△150,579
営業活動によるキャッシュ・フロー	△30,026
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△182,930
敷金及び保証金の差入による支出	△132
敷金及び保証金の回収による収入	201
投資活動によるキャッシュ・フロー	△182,861
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による支出	△7,042
新株予約権の行使による株式の発行による収入	280
新株式申込証拠金の払込による収入	1,458
株式公開費用による支出	△2,915
配当金の支払額	△121,825
財務活動によるキャッシュ・フロー	△130,044
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△342,931
現金及び現金同等物の期首残高	2,569,477
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,226,545

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、オフィス移転・増床の計画についても一部延期または中止されるなど国内の経済活動は急激な縮小を見せております。同感染症の収束時期を正確に予測することは困難であります。四半期財務諸表作成時に入手可能な情報に基づき、下半期は、新型コロナウイルス感染症拡大による再度の緊急事態宣言の発出などの社会的制限が実施されないことを前提として、経済活動の再開が一定程度進むとの仮定を置いて、繰延税金資産の回収可能性等会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は、不確定要素が高く、仮定と乖離が生じた場合には、当第3四半期会計期間末以降の当社の財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。